

全肢連情報

ZENSHIREN BULLETIN

□編集・発行

一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会

〒171-0021

東京都豊島区西池袋4丁目3番12号

□Publisher ZENSHIREN

TEL: 03-3971-0666

FAX: 03-3982-2913

E-mail: web-info@zenshiren.or.jp

皆様からのニュースのご提供を
心からお待ちしております。

全肢連情報はホームページ「響(ひびき)」でもご覧になれます。URL: <http://www.zenshiren.or.jp>

SNSで障害児・者、肢体不自由児・者の情報交換を **Facebook** <https://www.facebook.com/ZENSHIREN>

ICTを活用した重症心身障害児者の医療情報等の共有に向けた調査研究

昨年12月に各都道府県肢連へアンケート調査の協力を依頼した、「医療情報等の共有事業に関する医療的ケアが必要な障害児者の調査」。これはICTを活用した重症心身障害児者の医療情報等の共有に向けた調査研究事業に対する利用者側へのニーズ調査である。

厚生労働省では、重症心身障害児者の医療情報共有システムの必要性に対し、現場のニーズや、ICTシステム構築にあたって注意すべきこと等検討するための「ICTを活用した重症心身障害児者の医療情報等の共有に向けた調査研究事業(平成28年度)」を設定。

患者個々の診療経過等の医療情報を共有することで患者が診察を受けるにあたりメリットがあると考えられる一方で、必要な医療情報等の標準化、関係機関の連携のあり方、情報セキュリティ、費用負担のあり方など様々な課題を解決する必要がある。

こうした中、重症心身障害児については、原疾患や心身の状態が様々であるため、遠方への外出時等に緊急搬送され、かかりつけの医院に連絡しても担当医が不在の場合、必要な医療情報の共有を行う必要があるとの指摘がある。

また、重症心身障害児の在宅生活を支援するためには、医療、保健、福祉などが緊密に連携し、情報を共有する必要があるため、現状では自治体や関係団体が独自の様式を示して記録ノート等(サポートファイル)を作成し、医療情報を共有している場合もあるため、ICTを活用して医療情報等を関係者と共有することは、重症心身障害児の在宅生活の支援体制の充実にもつながる。

このため重症心身障害児のICTを活用した医療情報等の共有について、実現に向けた検討のための関連する課題の整理を行うことを目的とし、厚労省はみずほ総研に「重症心身障害児者の医療情報等共有検討会」の運営を委託した。

ICTを活用した医療情報等の共有に向けた論点や課題の整理等を行う「重症心身障害児者の医療情報等共有検討会」を設置するにあたり、全肢連からの検討委員推薦依頼を受け植松潤治副会長を選出した。

これまで先駆的自治体へのヒアリング、医療現場で実際に活用できる医療情報の整理、事業にかかるコスト、システムのセキュリティ対策の議論を経て、2月をめぐり最終とりまとめの予定だ。

平成29年度 各府省予算案について

内閣府・文部科学省・国土交通省・法務省の平成29年度予算案の概要について一部抜粋して掲載する。

<内閣府>

○男女共同参画社会・共生社会の形成。12億7,500万円計上。

そのうち障害者施策は、障害者政策委員会を開くとともに、障害者差別解消法の趣旨及び内容の啓発・広報、障害者差別解消支援地域協議会体制整備に関する支援、障害者差別解消の推進に関する調査研究、不当な差別的取扱いや合理的配慮、紛争防止体制等に係る事例の収集など、障害者施策の推進。

<文部科学省>

○切れ目ない支援訂正構築に向けた特別支援教育の充実。25億3,500万円計上。

インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進について、障害のある児童生徒等の自立と社会参加の加速化に向けた取組の充実を図り、障害のある児童生徒等が十分な教育を受けられる環境を構築する。※()内は平成28年度当初予算

- ・インクルーシブ教育システム推進事業 1,452百万円(1,001百万円)
- ・発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 152百万円(新規)
- ・特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 237百万円(56百万円)
- ・学習指導要領等の改訂及び学習・指導方法の改善・充実 72百万円(27百万円)
- ・学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解(心のバリアフリー)の推進事業 85百万円(81百万円)
- ・教科書デジタルデータを活用した拡大教科書、音声教材等普及促進プロジェクト 144百万円(140百万円)

医療的ケアのための看護師を1200人(200人増)配置するなどインクルーシブ教育システム推進に向けた取り組みを進める。

また、担当教員の専門性向上や免許状取得を推進するとともに、発達障害の可能性のある児童生徒への支援を拡充する。

<国土交通省>

東京オリンピック・パラリンピックに向け、道路空間などのユニバーサル化や鉄道駅のバリアフリー化を進める。

○公共交通政策、公共交通ネットワークの再構築。254億円予算化。

ノンステップバスの導入や視覚障害者誘導ブロックの整備を進める。

○鉄道駅のバリアフリー化。27億円計上。

エレベーターやホームドア、駅への子育て支援施設の整備を促す。

- ・バリアフリー法の基本方針に基づき、1日当たりの平均利用者が3,000人以上の駅を平成32年度までに原則としてバリアフリー化する。

※平成27年度末時点で約86%(3,045駅/3,542駅)で段差解消済み。

約83%(2,754駅/3,319駅)で障害者対応型トイレ設置済み。

<法務省>

○人権擁護施策。33億8,300万円を計上。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会を一つの契機として、「人種、障害の有無など違いを理解し、自然に受け入れ、互いに認め合う共生社会（ユニバーサル社会）」を実現するための総合的な人権擁護施策を推進する。

津久井やまゆり園事件を考える～神奈川集会～開かれる

障害のある人19名が亡くなった津久井やまゆり園の事件から6ヶ月が経った。この事件からは、障害のある人たちが社会で生きていく上での様々な現実と課題をあぶり出されることとなった。

元職員が抱いた「障害者なんていなくなればいい」という優生思想、措置入院という取扱いに内在する問題、事件後に警察が実名を公表しなかったこと、本人不在の建て替えなど、それぞれが大きな課題として存在している。元職員が誤った考えを抱くにいたった背景には、入所者が地域で暮らし続けることができず、家族も疲弊し、入所施設に入らざるを得なかった現実があり、入所後も特に重い障害のある人たちについては、入所施設から出て地域で暮らせるように取り組むことができていないことがあるのではないかと。

入所施設が社会から切り捨てられた人たちの隔離収容の場所になってしまうことのないように、入所施設が地域で生きていくことの困難さを解決し、地域で暮らせるよう支援していく役割を果たし、グループホームや介護派遣等、地域にある事業所が障害の重い人たちを地域で支えることのできる道を考えていかなければならないのではないのでしょうか。

この事件を忘れることなく、この事件が投げかけている様々な課題に向き合い、日々の取り組みに生かしていくことを願い、1月26日(木)には横浜市かながわ県民活動サポートセンターにて追悼集会が開催され、呼びかけ人代表の一人である清水誠一会長からのメッセージを石橋吉章副会長が述べた。

平成29年度「児童福祉週間」標語決定!

子どもの家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定め、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業及び行事を行っている。

児童福祉の理念を広く啓発する標語を全国から募集し、有識者等で構成された標語選定委員会による選考の結果、下記の作品が平成29年度「児童福祉週間」の標語に決定した。

平成29年度においても、今回選出された標語を児童福祉週間の象徴として、児童福祉週間の広報・啓発ポスターをはじめ、中央及び全国各地で実施される各種事業・行事において幅広く活用していくこととしている。

◆最優秀作品（1作品） できること たくさんあるよ きみのてに

◆入選作品（9作品）

- ・いいことば かけあうことで いいきずな
- ・子どもたち 幸せはこぼれ 笑い声
- ・可能性 ひとりひとりの 手の中に
- ・その背中 きっとみんなが 支えるよ
- ・君の願い 叶える社会 つくろうよ
- ・君のゆめ それはみんなの宝物
- ・私から 広げていこう 笑顔の輪
- ・勇気出し 声をかけたら 友達だ
- ・夢を見る 小さな星（スター）が 今ここに

パラ駅伝 in TOKYO 2017 開催案内

パラ駅伝。それは障害のあるなしにかかわらず、チームがひとつになって駆け抜ける。選手、観客、ボランティア、この駅伝にかかわるすべての人が楽しみ、一体となり創り上げる今までにない駅伝です。コースは全長20.504 km。1周2.563kmのコースを8区間9名(伴走車含む)で8周。

14都県の代表チーム17チーム(予定)が参加し、8区間のランナーがタスキと想いをつないでゴールを目指し、下記の通り開催する。

◇開催日時 平成29年3月12日(日) 開場11時(予定) 開会12時～15時45分(予定)

◇場 所 駒沢オリンピック公園 陸上競技場及びジョギングコース
東京都世田谷区駒沢公園1-1 東急田園都市線駒沢大学駅より徒歩13分

◇観戦申込 無料 (先着順)
※一般席、車いす席、手話通訳席に加え、アクセシブルシート(席)をご用意。

◇応募方法 Web申込 <https://www.parasapo.tokyo/paraekiden/#scene-4>

◇応募締切 平成29年2月25日(土)

◇問合せ先 日本財団パラリンピックサポートセンター
「パラ駅伝 inTOKYO 2017」大会事務局
電話:03-6229-3721 FA:03-6229-3722 (土日を除く9時~17時)
E-mail ekiden@parasapo.tokyo

ボランティア募集

「パラ駅伝」になくてはならないもの、それはボランティアの力。ボランティアはただ大会運営のお手伝いというだけでなく、一緒に選手を応援し、大会を盛り上げる大切な役割です。パラスポーツを応援したい、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けてボランティア経験を積みたい、目標に向かう人をサポートしたい、同じ志を持つ仲間に出逢いたい…そんなあなたの思いをカタチにしてみませんか?「パラ駅伝2017」を一緒に創り上げてくれる仲間を、お待ちしております!

- ◆業務内容 ①案内・対応等業務 ②選手への応援
- ◆募集人員 先着300名
- ◆募集期間 平成29年2月10日(金) ※定員に至った時点で募集終了
- ◆申込方法 下記Webサイトより申込み
<https://www.parasapo.tokyo/paraekiden/volunteer/>
- ◆詳細 https://www.parasapo.tokyo/paraekiden/assets/pdf/2017_volunteer.pdf

障害のある人と災害 体験型講座 開催案内

災害が起きたら誰もが被災者です。障害のある人困難をもしかしたら誰もが被災時に体験することになるかもしれません。障害体験を通して災害を考えます。

◇開催日程 平成29年3月11日(土) 午後1時~

◇会場 新宿区障害者福祉センター
東京都新宿区戸山1-22-2

◇問合せ先 社会福祉法人新宿区障害者福祉協会 ※受付時間 9時~17時まで
電話:03-3232-3711 FAX:03-3232-3344
E-mail: ssk@pluto.plala.or.jp

◇第1部 障害を知ろう、体験しよう。

障害者団体の皆さんがそれぞれの困難を面白く伝えるために考えた、災害時にも通じる体験型ワークショップ。

①知的障害・自閉症の疑似体験 ※事前予約が必要

・時間 午後1時~午後2時30分

②各障害体験講座 ※予約不要、自由参加

・時間: 午後2時40分~午後5時

・身体障害者: 車いす乗車体験、災害時の車椅子の扱いを体験

・視覚障害: がれきの中を歩く、目の不自由な人の感覚を体験

・聴覚障害: ジェスチャーで耳の不自由な人に伝える

など

◇第2部 福祉避難所を研究しよう（宿泊体験） ※事前予約が必要

福祉避難所研究も兼ねて、障害のある人ない人、みんな一緒に泊まってしまおうという企画。どんな困難が待っているのか？昨年に引き続き、取り組みます。

- ・時間 午後5時～翌朝9時
- ・参加対象者 本テーマに興味のある一般の方や学生。障害のある方。福祉関係者。医療関係者

※参加要件がありますので事前にお問合せ下さい。

◇詳細 <http://shinjyuku-fukushi-center.org/category/event>

平成29年度通常総会（全国会長・事務局長会議）日程

- ・日 程 平成29年5月20日（土） 12時受付開始 13時開会（予定）
 - ・場 所 会場未定（東京都内）
- ※総会の詳しい案内については後日お知らせいたします。

事務局より

- ①平成29年度第50回全国大会(京都大会)の参加見込み人数の聞き取りについて
同封しました用紙にご記入の上、3月10日(金)までに全肢連事務局宛に返信ください
締切期限が短い中で申し訳ございませんが、現時点での見込み人数で構いません。
ご協力の程よろしくお願いいたします。
- ②平成28年度事業実施概要報告及び平成29年度事業計画(案)について
すでに1月15日付で依頼しております。提出期限は2月17日(金)となっておりますので
期限内にご回答いただきますようお願いいたします。
- ③障害者の文化芸術活動に関するアンケートについて
提出期限1月30日(月)で依頼しておりましたが、本日現在未提出の各県肢連につきま
しては早々にご提出願います。

2月の行事予定

2日(木) 第4回ICT検討会	みずほ総研(株)
9日(木) オリパラネット会議	滋賀県びわ湖大津プ リンホテル
10日(金) 全肢連平成28年度第4回理事会 特別支援教育推進連盟理事会	全国心身障害児福祉財団会議室 全国たばこビル
10日(金)～12日(日)アメニティフォーラム21	滋賀県びわ湖大津プ リンホテル
14日(火) おもちゃ図書館財団選考会	おもちゃ図書館財団
21日(火) 第3回児童発達支援が トライ 策定検討会	厚生労働省 専用第15会議室
22日(水) 第50回全国大会実行委員会	京都市肢連事務所
24日(金) 第32回内閣府障害者政策委員会	中央合同庁舎8号館
28日(火) わ127号発行	